



日々の暮らしの声と
東村山の市政を
つなぎます。

東村山・生活者ネットワークニュース 発行日/2019年11月1日 vol.131 発行/東村山・生活者ネットワーク 発行責任者/朝倉順子
〒189-0013 東村山市栄町2-19-3 森田ビル201 TEL&FAX 042-392-7677 hmy.net@hyper.ocn.ne.jp http://hmy.seikatsusha.me/

施行から 介護保険制度 20年! 2021年度はここが変わる

介護保険は2000年に導入され、5回の改正を重ね制度は複雑化している。高齢者人口の増大と保険料の不足から、40歳以上が払う保険料と利用者負担額は増え続けている。国の「社会保障審議会介護保険部会」は次の改正で、更なる給付の抑制と負担引き上げなど大きく3点を掲げる。



本町久米川町恩多町

「元気アップMAP」お宅にも届いています

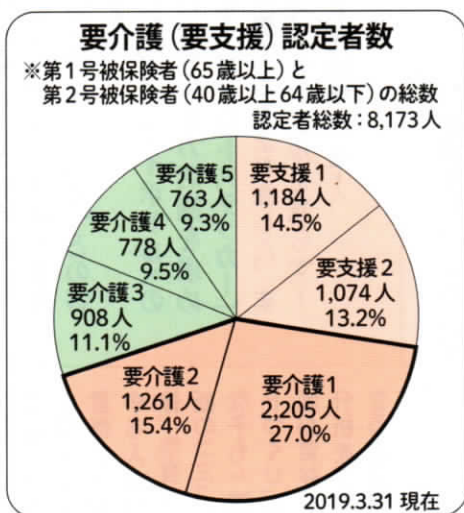
ますます使いつらい制度に?

① 要介護1・2の訪問介護の生活援助(掃除や食事作りなど)と通所介護を介護給付から外し、自治体ごとの地域支援事業に移行する。

2015年に要支援が地域支援事業に移行した。東村山市では元気アップMAPの発行、健康体操、「ふまねつと」の普及、地域のサロンや居場所などの地域資源を使って健康寿命を延ばそうと取り組んでいる。しかし、要介護者の4割以上を占める要介護1・2の人が地域支援事業に移行した時、サービスの受け皿が不足することが想定される。要介護1・2には多様な疾患や認知症の方が多く、専門的なサービスが受けられず介護の重度化につながる危険が。また、給付対象外になると自己負担が多くなり、利用抑制につながる。

② ケアプラン作成が有料化

介護認定された人は介護サービスを利用するのにケアプラン作成が必要。ケアプラン作成費用は全額介護保険から支給されているが、利用者負担になる事で、相談支援やプラン作成に至らず、介護放棄など虐待が見逃されることも考えられる。



③ 原則2割3割負担になる

年金の中からの出費が増え、生活維持のための利用控えが予想される。個人・家族の介護負担が増えることは明らかだ。仕事と介護の両立が難しくなれば、介護離職を産む要因になる。核家族や晩婚により、育児と介護を同時に担っているダブルケアラーの存在も見過ごせない。

2025年には8千円?

東村山市の介護保険料は現在平均5,750円。団塊の世代が後期高齢者になる6年後には平均8千円になるとも予想されている。負担の大きい保険料を払いつつ、予防に励み介護保険のお世話にならないように生きていくしかないのか。本人も家族も「老後不安」にならない、老いを自己責任としない仕組みになるには、根本的な見直しが必要だ。

第12回平和の集い「全生園を訪ね、人権問題を考える」

日時: 12月22日(日)10:00 ~ 14:30

集合: (9:50) 国立療養所多磨全生園ハンセン病資料館入口(青葉町4-1-13)

参加費: 昼食代1500円(税込み)園内 なごみにて(要事前申し込み)

平沢保治さん語り部講演映像・館内見学
昼食・議会報告・園内散策



申込み(12月18日まで) 東村山・生活者ネットワーク
TEL&FAX 042-392-7677



10/28 衆議院第一議員会館
で行われた院内集会
現場の声を国会へ届けた

はじめの一歩カレンダー

白石えつ子の活動報告



障がいのある人もない人も共に生きる



9月東村山市議会報告 東村山・生活者ネットワーク 市議会議員 白石えつ子 一般質問より

障害福祉に関する 市単独事業再構築について

※東村山市単独障害福祉事業を時代の変化に合う制度に変えるため、平成24年から5年の長きにわたり、「障害福祉に関する市単独事業再構築検討委員会」で多様な障害の壁を越え、当事者が議論を重ねてきました。

その結果、障害者手当・難病患者福祉手当の支給月額額は6000円に統一されました。心身障害者タクシー料金助成手当・心身障害者ガソリン費補助手当は、「障害者移動費用支援手当」に名称をかえ、移動手段等を問わず月額15000円の定額支給に変更されました。これまでの領収書を市役所まで持参する手間は省かれます。見直しにより、限られた財源の中で、

9/21 サンプルネで開催された自立訓練施設「くるる」の作品展
働きにくさを抱えた方々が、自立に向けた準備のために、制作した作品が並んでいました。自立を急がず、生活のリズムを作ることに丁寧に取り組まれている成果が現れていました。



9/26 ノウフクフォーラム2019
農福連携×SDGs

「地域再生と持続可能な共生社会の構築」人とのつながりを作り、地域を活性化に導く可能性がある農福連携を、東村山から進めていきます。



9/28 「遠い親戚より近くの他人」コミュニティの緊急物資配達受取訓練を実施！
平時からの顔の見えるつながりを災害時に活かすため安否確認と物資配布を行いました。10名の方に、缶のお茶とダイオキシンを発生させないポリエチレンラップをお渡ししました。



「公民連携でインクカートリッジの回収を始め、レジ袋削減にも取り組んできた。先進事例を参考に、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再使用）を進めていく」との回答でした。

プラスチックごみゼロのまちへ

受けられなくなった方もいます。新たな支給対象者はおよそ850人（8月31日現在）増えたことがわかりました。答弁では、「提言書の中にある残された課題を今後も検討し、新たな障がい福祉制度改正が必要な時は、当事者と共に丁寧な議論が重要と認識している」との見解が示されました。

今やプラスチック削減は、地球規模での喫緊の課題です。日本のプラスチック使用量は世界第2位でありながら、削減の取り組みは、遅々として進んでいません。プラごみ削減の先進事例として、農工大は「2030年までにプラスチック削減5Rキャンペーン

宣言」、小金井市庁舎では自動販売機のペットボトルを順次缶容器に代替。京都府亀岡市は、2030年度までに「かめおかプラごみゼロ」宣言で、河川の環境を守る取り組みなどをしていきます。

リサイクル率が高い東村山市でも、「プラごみゼロで魅力あるまちをめざすべき」との問いに、「公民連携でインクカートリッジの回収を始め、レジ袋削減にも取り組んできた。先進事例を参考に、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再使用）を進めていく」との回答でした。

本年4月の改選により、佐藤まさたか議員（無所属）、かみまち弓子議員・藤田まさみ議員（立憲民主党）、白石えつ子の4人で
会派「つなごう！立憲ネット」を結成した。

9月議会では、H30年度決算特別委員会一般会計に対して、公正かつ合理的な事務執行、健全な財政運営を評価し賛成した。また、医療的ケア児の保育開始も評価した。

課題としてあげたのは、公民連携について、公正性、公平性の担保のため、モニタリング評価制度を整え、徹底した見える化を。ジョブシェアセンターの意義が市民に理解される努力を。あらゆる人が公共的な価値を生み出す主体。他責から自責へと文化を変え、不断のコミュニケーションを大切に。どんな子も一緒に育つ環境、セーフティネットづくり、保育の質向上に、公立保育園が責任を持つ。不登校の実態要因の分析を丁寧に、多様な選択肢ができるよう取り組んでほしい。

ハテナサロンのお知らせ

輸入小麦に潜む危険

日時：2020年1月19日（日）
10:30～12:30

グリホサートって何？
除草剤から食の安全が脅かされる？

場所：まちの縁がわ本町（本町4-1-8）
参加費：300円（資料代）

申し込み：東村山・生活者ネットワーク
TEL&FAX 042-392-7677

募集中

ニュース（年4回）
配布協力者
... 薄謝あり

フリマ定期開催中
毎月第4火曜日11時～15時（雨天中止）
ネット事務所（柴町2-19-3）
西武信用金庫向かい1階たたき部分にて
提供品随時募集